



協働型地域おこし協力隊
かわい しょうた
河合 祥太さん

着任：令和4年2月(1年目)
出身：東京都豊島区

—これまでの経歴について教えてください。

複数のレストランを展開する会社で統括料理長などを経験し、インテリアショップを運営する会社では、飲食店事業の立ち上げに携わり、ジビエの缶詰の商品開発を担当しました。その後、株式会社良品計画で販売部長や食品部新規事業開発部長、カフェ&ミール事業部部長を経験しました。

—厚真町ではどんなことをしていますか？

町内の株式会社GOODGOODで、主に商品の企画・開発を担当しています。野菜や果物を仕入れて加工原料として飲食店へ卸したり、加工して商品化したものを小売店へ卸したりすることを目指して準備を進めています。

—株式会社GOODGOODはどんな会社ですか？

高丘地区に開業予定だったゴルフ場の跡地を放牧畜産

の現場として再活用していきながら、さまざまな人が活躍できる実証実験の場として、100年後の未来に食を残すことを真剣に考えている会社です。資材などが高騰していく中で、価格競争になっても安定して正しく美味しいお肉を提供できる畜産を目指しています。

—厚真町に来ようと思ったきっかけは何ですか？

各地の産地を見学した際、地域の課題や一次産業の課題の解決に向けて取り組んでいかないと、飲食業界が立ちゆかなくなるとの危機感がありました。そんな中、株式会社GOODGOODと出会い、商売を通じて社会課題を解決するために、これまでの経験を生かしたいと思ったことがきっかけで入社、移住を決めました。

—厚真町(北海道)の印象を教えてください。

ポジティブでいい人が多い印象です。静かで住みやすく、とてもいいところです。地の利が良くて他地域に行きやすい環境です。

—3年後の目標は？

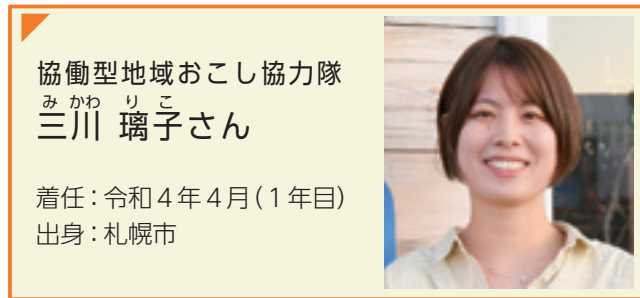
野菜や果物をパスタソースやドレッシングに加工した商品を開発し、厚真町の名産品を増やしたいです。原材料の調達から商品開発、デザイン、販売までを一元化した食のSPA(製造小売業化)を目指し、GOODGOOD北海道というブランドを立ち上げることも目標です。

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊(10月末現在)

農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人
起業型▷6人 協働型▷17人



協働型地域おこし協力隊
みかわ りこ
三川 璃子さん

着任：令和4年4月(1年目)
出身：札幌市

—これまでの経歴について教えてください。

北海道武蔵女子短大を卒業後、株式会社トリドールホールディングスへ就職し、パンケーキカフェ事業部でメニュー開発や店舗営業などを担当し、店舗では店長も経験しました。個人でブログやツイッターなどを利用して情報を発信していました。

—厚真町では何をしていますか？

町内の株式会社とけるに勤務しています。主にウェブメディアの編集や運営・管理をしていて、公開に向けて準備を進めています。町内の方々のインタビュー記事を発信します。現在は「未来」をテーマに取材しています。

—株式会社とけるはどんな会社ですか？

コミュニティ事業、伴走事業、メディア事業といった3つの事業を展開しています。コミュニティ事業は、北海道というキーワードに興味を持った人たちが集まるコ

ミュニティの運営、北海道への移住促進イベントの主催・運営などを行っています。

また、伴走事業は、企業や自治体の課題に寄り添い、一緒に課題を解決するプロジェクトを進め、会社のブランディングやコンセプト作りに携っています。さらにメディア事業は、ウェブメディア「拝啓、未来」の管理と運営をしています。

—厚真町に来ようと思ったきっかけは？

地元北海道に貢献できる仕事がしたいと思い、かねてから知り合いだった弊社代表に相談しました。「事業の中で、言葉を扱う仕事が増えてきたので助けて欲しい。一緒に仕事をしないか」との誘いをきっかけに入社し、厚真町へ移住することにしました。

—厚真町の印象を教えてください。

いろんなジャンルで活動している人や、やりたいことを仕事にしている人が集まっていて盛り上がっている印象です。

—これからの目標は？

株式会社とけるは、立ち上げて間もない会社なので、まずは会社を知ってもらえるような活動を進めていき、関わる人を増やしていきたいです。自分の顔と名前を覚えてもらうために、自己紹介チラシを作成してお会いした方へ名刺と一緒に配布しています。